

**COBHAM**

# EXPLORER 710

はじめに



# スタートマニュアル

はじめに、以下のアイテムが含まれていることを確認してください。

- EXPLORER 710 ターミナルにはトランシーバー TT-3720B、アンテナ、アンテナケーブルが含まれています。
- バッテリーパック TT-3686G\*
- AC/DC アダプター
- スタートマニュアル のキット に含まれるもの
  - イーサネット / ISDN ケーブル (シールド付き、2m)
  - スタートマニュアル (本ガイド)



## 1 SIM カードを挿入する。(エアタイムプロバイダから提供されたもの)

SIMスロットの位置は図の中で示されているとおりです。

- a. チップ側を上にしてSIMカードをSIMスロットに挿入します。
- b. カチリという音がするまで静かに押し込みます。
- c. SIMスロットの手前のロックをスライドさせます。



## 2 電源を供給する

### バッテリー

バッテリーを挿入し、ロックされるまで静かに押し込みます。外部電源が接続されると、バッテリーの充電が始まります。

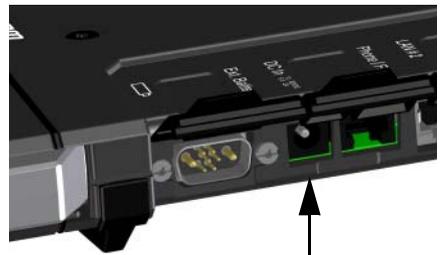
**注:** 日本での充電温度の範囲は法的要件では 10 から 45°C です。他の全ての国の充電温度は 0 から 45°C です。



### 外部電源

ターミナルに電源を投入する、またはバッテリーに充電するには、DC 入力に以下の外部電源のいずれかを接続します。

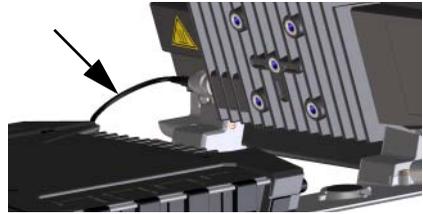
- 10-32 VDC
- 100-240V の主電源に接続されている同梱の AC/DC アダプター
- ソーラーパネル (最小 65 W、10-32 VDC)



### 3 お使いの機器を接続する

アンテナケーブルは配送時に接続されています。

**注:** トランシーバーとアンテナを分離して使う場合、より長いアンテナケーブルを使い、トランシーバーをアンテナブラケットから取り外します。次のセクションを参照してください。

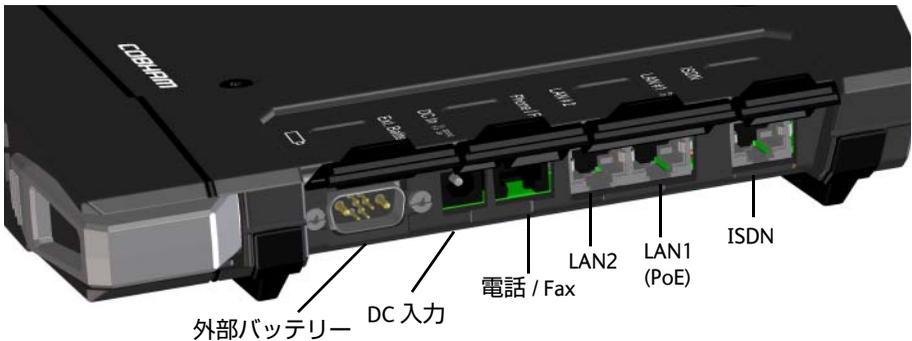


トランシーバーの各コネクタとお使いの機器を接続します。

**注:** USB インタフェースは、電話やタブレットの充電（最大 2 A）、または USB メモリスティックを使用したソフトウェアのアップデートなどに使用されるホストインタフェースです。



USB(ホスト)



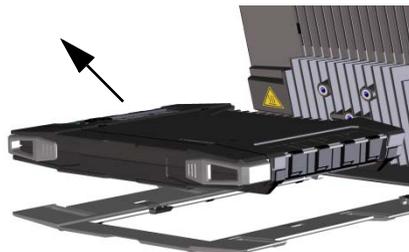
## 4 アンテナとトランシーバーを分離する（オプション）

トランシーバーとアンテナを分離して使用する場合、次のように操作します。

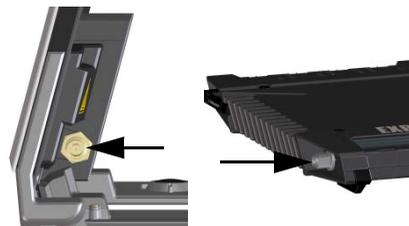
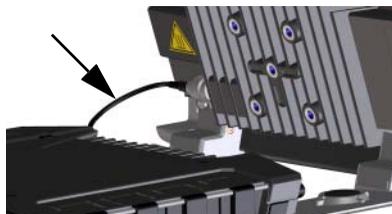
- a. ターミナル下部にあるスライドロックの位置を確認します。
- b. ロックを押しながら、外側にスライドさせ、トランシーバーをアンテナブラケットから外します。



- c. トランシーバーを取り外します。



- d. トランシーバーとアンテナをさらに離す場合、短いアンテナケーブルを取り外し、より長いアンテナケーブルでトランシーバーとアンテナを接続します。



## 5 のスイッチを入れる EXPLORER 710

Status LED が点灯するまで電源ボタンをスライドさせたままにします。これには数秒かかることがあります。

Status LED が遅い点滅あるいは緑点灯になり、ディスプレイに Ready と表示されると、ターミナルを使用できます。

スイッチを切るには、Status LED が黄色に点滅するまで、電源ボタンをスライドし続けます。



## 6 PIN を入力する (必要な場合)

この手順は、EXPLORER 710 SIM カードに PIN コードが設定されている場合にのみ、衛星ネットワークで通信する際に必要です。

**ディスプレイとキーパッドから PIN を入力するには、次のように操作します。**

- ディスプレイに **Enter PIN?** と表示されたら、矢印キーを使用して文字を強調し **OK** を押します。
- 一桁目が正しい数字になるまで、▼ または ▲ を数回押します。
- OK** を押して次の桁の数字に移動します。前の桁の数字は \* で示されます。
- OK** を押して最後の桁の数字を入力したら、入力した PIN を適用させるために再び **OK** を押します。



ディスプレイとキーパッドの概要については、11 ページの「ディスプレイパネルの概要」をご覧ください。

**Web インタフェースから PIN を入力するには、次のとおりに入力します：**

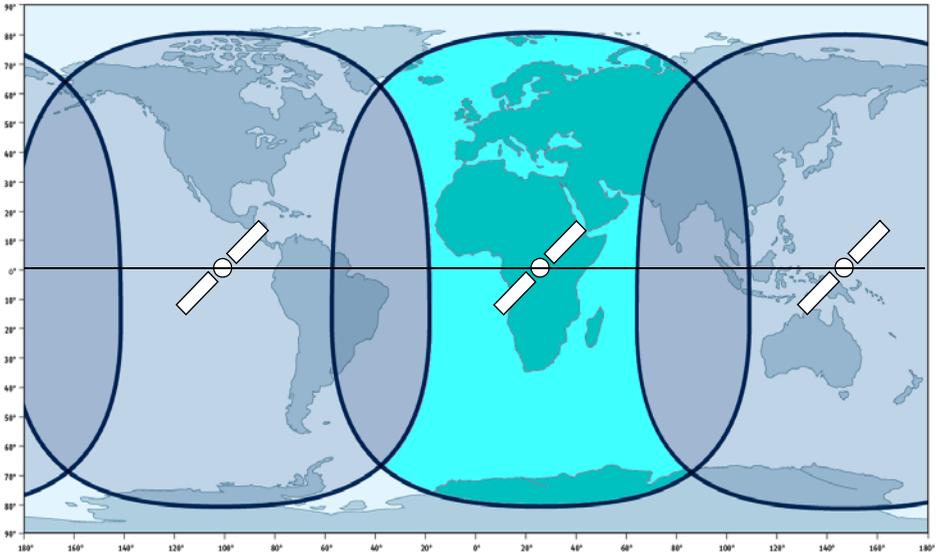
- LAN または WLAN インタフェースを使って、コンピュータをターミナルに接続します。
- インターネットブラウザを起動します。
- アドレスフィールドに「ut.bgan」を入力します。<sup>1</sup>  
PIN が必要な場合、Web インタフェースから PIN の入力が要求されます。
- PIN を入力し、**OK** をクリックします。
- 今すぐ PIN コードを入力しない場合は、後でアラームリストから入力することができます。  
リストにアクセスするには、ページの上部にある **!** をクリックしてください。

1. ターミナルのローカル IP アドレス (デフォルト: 192.168.0.1) を入力することもできます。ディスプレイからローカル IP アドレスを確認するには、Menu に入り、**Properties > IP Address** (プロパティ > IP アドレス) の順に選択します。

## 7 アンテナの方向を決める

アンテナの方向を決める前に、下のカバレッジマップを利用して、衛星とおおよその位置関係を知ることができます。次にコンパスを使い、最も近い衛星の方角を確認することができます。

3つのインマルサット衛星は赤道上空に位置しており、下図のカバレッジマップは各衛星からの電波到達範囲を示します。



 I4 coverage

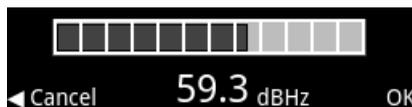
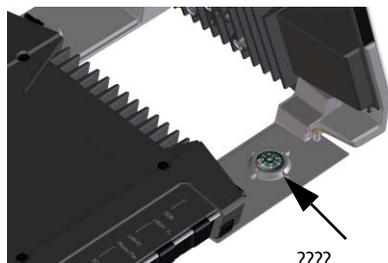
 I4 and Alphasat coverage

## アンテナの方向を決める

衛星との通信で最適な通信速度と通信時間を得るために、アンテナの方向を高い精度で調整します。

次のように操作します：

- コンパスを使い、アンテナの前面から衛星までのおおよその方向を見つけてます。
- EXPLORER 710 アンテナをゆっくり回転させたり、傾けたりしながら、ディスプレイと指示音を使い、一番信号強度が高くなる場所を見つけます。
- 信号強度が最大になる場所が得られたら、ディスプレイキーパッドの **OK** を押します。



EXPLORER 710 が BGAN ネットワークへの接続を開始します。

**注：**初期設定では、機器を LAN または WLAN インタフェースに接続すると、EXPLORER 710 は自動的にスタンダードデータ接続でインターネットに接続します。

LAN/WLAN 接続を使わない場合、このインタフェースによる送信に対して**課金されないように、ケーブルを取り外すか、インタフェースを無効にします。**

**新しいポインティングプロセスを開始するには、次のとおりに操作します。**

- ディスプレイの中の  を選択してください。
- Point now** を選択します。
- 上記のポインティングプロセスを行います。

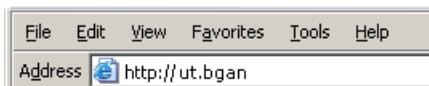


## EXPLORER 710 Web インタフェースにアクセスする



Web インタフェースは、EXPLORER 710 の設定及び通常使用する際に用いられます。Web インタフェースにアクセスするには、次のように操作します。

1. PC、タブレット、スマートフォン等を EXPLORER 710 に接続します。
2. インターネットブラウザを起動します。
3. アドレスフィールドに「ut.bgan」を入力します。<sup>1</sup>



お使いのブラウザで Web インタフェースが開きます。Web インタフェースの使い方に関する詳細は、 をクリックして、ユーザーマニュアルを利用します。

## WLAN を使用する



### WLAN に接続する

1. EXPLORER 710 で WLAN が有効になっていることを確認します。ディスプレイの最上段には、有効になっているインタフェースが表示されます。
2. お持ちのデバイスの位置がターミナルに近くない場合は、トランシーバーの WLAN アンテナを垂直に立てます。
3. WLAN 対応の機器（コンピュータ、タブレット、スマートフォン）を EXPLORER 710 の近くに置いてください。ただし、アンテナの前には置かないでください。
4. お使いの機器で、利用できる WLAN ネットワークを検索します。
5. 利用できる無線ネットワークの一覧に EXPLORER 710 WLAN アクセス・ポイントが表示されたら、それを選択します。デフォルト名は **EXPLORER 710** です。



- 
1. ターミナルのローカル IP アドレス（デフォルト：192.168.0.1）を入力することもできます。ディスプレイからローカル IP アドレスを確認するには、Menu に入り、**Properties > IP Address**（プロパティ > IP アドレス）の順に選択します。

**注記：**パスワードの入力が必要な場合もあります。初期設定では、パスワードはお客様の EXPLORER 710 の シリアル番号、エンコードタイプは **WPA2** となっています。

これで、お使いの機器が EXPLORER 710 に接続されました。EXPLORER 710 が BGAN ネットワークで登録されると、インターネットとの接続が自動的に確立されます。

これでインターネットの閲覧や電子メールのチェック、ファイルの送信ができます。

**通話：**WLAN を使い、BGAN ネットワークで電話をかける場合は、お使いのスマートフォンに SIP クライアントをインストールすることが必要になります。9 ページの「WLAN 又は LAN に IP 電話を接続して通話する」をご覧ください。



## インターネットに接続する

### スタンダードデータ

初期設定では、機器を LAN または WLAN インタフェースに接続すると、EXPLORER 710 が自動的にスタンダードデータ接続を使用してインターネットと接続するようになっています。

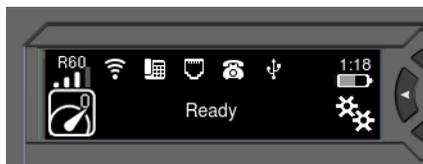
スタンダードデータ接続を利用し、インターネットの閲覧や電子メールの送信ができます。

Web インタフェースからインターネットへの自動接続を無効にすることができます。

### ストリーミング

ディスプレイからストリーミング接続を開始するには、次のように操作します。

1. ディスプレイの左下隅でデータ接続アイコンを選びます。



2. 矢印ボタンを使って開始する接続を表示し、**OK** を押して接続を開始します。

**注記：**Web インタフェースを使い、選択可能なデータ接続を設定します。

# WLAN 又は LAN に IP 電話を接続して通話する



ターミナルの電話番号を使い、BGAN ネットワークで電話を発着信するように、スマートフォンまたは IP 電話（ハンドセット）を設定することができます。EXPLORER 710 に接続された他のハンドセットにローカル通話をかけることもできます。

**注記：**使用する IP ハンドセットは SIP クライアントが入っていることを確認します。SIP クライアントが入っていない場合、インターネットでダウンロード可能な SIP アプリケーションをお探しくささい。

## 初回の設定

初めて WLAN または LAN インタフェースに IP ハンドセットを接続して通話する場合、まず、お使いのスマートフォンに SIP サーバーの詳細を設定する必要があります。設定方法は、スマートフォンと SIP アプリケーションのユーザーマニュアルを参照してください。次のような詳細事項の入力が必要な場合があります。

- SIP サーバーアドレスとポート 初期アドレス：192.168.0.1、ポート：5060
- ユーザーネーム 内線番号 EXPLORER 710（0501 から 0516）
- パスワード ユーザーネームと同じ（初期値）
- コーデック・プライオリティー 最優先コーデックタイプ：G.711

ユーザーネームとパスワードは EXPLORER 710 の Web インタフェースでの IP ハンドセットの設定と一致していることが必要です。

## スマートフォンを接続して電話をかける場合

EXPLORER 710 の WLAN 経由で電話をかけるには、次のように操作します。

1. EXPLORER 710 ターミナルを起動します。
2. EXPLORER 710 の無線アクセス・ポイントにスマートフォンを接続します。  
7 ページの「WLAN を使用する」をご覧ください。
3. SIP アプリケーションを起動します。  
これで BGAN で電話の発着信ができます。



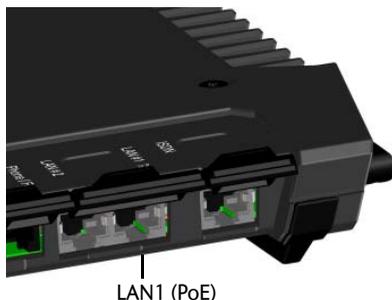


## IP ハンドセットを使用して電話をかける場合

**注記：**お使いの IP ハンドセットが PoE クラス 2 (7 W) 対応であることを確認します。

IP ハンドセットを接続するには、次のように操作します。

1. EXPLORER 710 ターミナルを起動します。  
**注記：**ターミナルで PoE が有効になっていることを確認します。Web インタフェースで PoE を有効にする。
2. IP ハンドセットとターミナルの LAN#1 間を LAN ケーブルで接続します。
3. ハンドセットを使用する場合、そのハンドセットの取扱説明書を参照してください。  
9 ページの「初回の設定」もご覧ください。



これで BGAN で電話の発着信ができます。



## 電話をかける

### ターミナルから電話をかける

EXPLORER 710 ターミナルに接続されている電話機から電話をかける場合の手順：**00 <国コード> <電話番号> #** の順に入力します。

**例：**デンマークの Cobham SATCOM に電話する場合 (+45 39558800)：**00 45 39558800 #** を入力する

**注記：**オーディオの品質には 2 種類あります。スタンダードボイスと 3.1kHz オーディオです。デフォルトでは、スタンダードボイス品質が使用されます。通話の際にスタンダードボイスを使用するには、番号の前に **1\*** を入力します。通話の際に 3.1kHz オーディオを使用するには、番号の前に **2\*** を入力します。

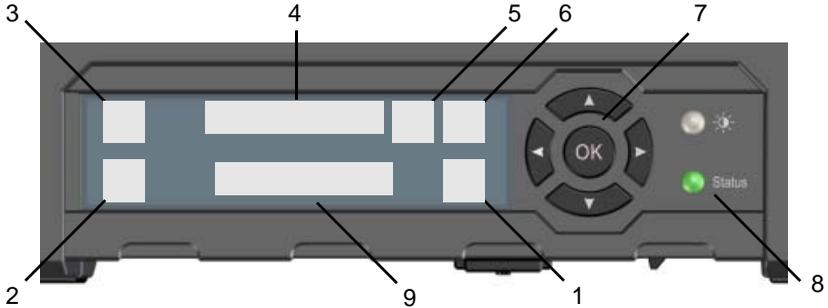
### ターミナルに電話をかける

EXPLORER 710 ターミナルに電話をかける場合の手順：**+<BGAN 電話番号>** を入力します  
(+ はお客様の国から外国へ電話をかける時の国際電話識別番号です。)

**注記：**オーディオの品質には、3.1kHz オーディオとスタンダードボイスの 2 種類があります。

お使いのターミナルの音声電話番号は、エアタイムサブスクリプションで見つけることができます。番号は **MS-ISDN** (スタンダードボイスと SMS) および **AMS-ISDN** (ISDN、FAX、3.1kHz オーディオ) として一覧表示されます。

# ディスプレイパネルの概要



1. メニュー  
ディスプレイメニューを開きます。メニューの概要については、次のページを参照してください。
2. 接続  
データ接続を開始できます。
3. 衛星信号の信号強度  
衛星接続の信号の強度とビームの種類を示します。(G: グローバルビーム、R: リージョナルビーム、N: ナロービーム)
4. インタフェース オン/オフ  
インタフェースのオン/オフの切り替えができます。
5. 警告  
警告メッセージがあるかどうかを示します。
6. バッテリーステータス  
内部バッテリーと外部バッテリーのステータスを示します。(接続されている場合)
7. ナビゲーション用キーパッド  
利用可能なオプションの表示を切り替え (矢印キー)、選択できます (OK)。
8. Status インジケーター  
ステータスを示します。次のページの表でインジケーターのパターンを説明しています。
9. ステータスの文字列  
EXPLORER 710 の現在のステータスとネットワーク接続を示します。

インジケータのパターン		意味
●	緑色点滅 (速い)	起動中
●	緑色点滅 (遅い)	電源オン (準備完了)
●	緑色点灯	DC 入力で電源オン
●	黄色点滅 (遅い)	バッテリー充電中
●	黄色点滅 (速い)	終了中
●	黄色点灯	警告 (ユーザが修復可能)
●	赤色点灯	エラー (ディスプレイまたは Web インタフェースを参照してください)
●	青色点滅	ターミナルにソフトウェアをアップロード中
○	オフ	電源オフまたはステルスモード

## ☰ ディスプレイメニュー

